

「災害心理教育」(パワーポイント)をお使いになる方へ

1) 目的と注意

この災害心理教育のスライドは、平成 23 年 3 月 11 日の東北関東大震災に被災した子ども達が集団生活を送る場面での心理教育の為に作られました。病院、学校、児童福祉施設などでお使い頂けると思います。基本的な心理教育のありかたにのっとりしておりますが、子どもが年齢相応に理解できる正確な情報を得て、自分の環境や心身の状況が分かることで安心し、対処法を知ることにより精神的安定を得ることを目的として作成しました。ただし、傷つきが深すぎる子どもや現実を認めたくない子どもはまだ心理教育を受け入れられる段階にはありません。必ず、心理士などの専門家と一緒に、どのようなグループで、どのような形でを行うかを相談してから使用してください。

2) 現地の状況に合うようにアレンジしてご活用下さい

被災状況や復旧状況も日々刻々と変わる中、ご活用になる地域や施設によっては内容がそぐわない部分もあろうかと思えます。ライフラインの説明などは、現状に合うように変更してご活用下さい。

3) 文責

本スライドは当センター医師を始め、専門家のコミュニケーションで作成しました。特に仙台のせんだんホスピタル児童思春期精神科医の福地成先生には貴重なご意見をいただき、素晴らしいスライドにして頂きました。ありがとうございました。なお、文責は子どもの心の診療中央拠点病院(国立成育医療研究センター こころの診療部)にあります。ご質問・ご指摘はこちらにメールでお願いいたします。

子どもの心の診療中央拠点病院

国立成育医療研究センター こころの診療部